

作成日 2015年 7月31日

改訂日 2022年10月14日

## 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	: 防錆剤ロボナル
社内製品コード	: R72142
会社名	: アサダ株式会社
住所	: 愛知県名古屋市北区上飯田西町3-60
担当部門	: 営業本部
電話番号	: 052-911-7165
緊急連絡電話番号	: 052-911-7165
FAX番号	: 052-914-2962
メールアドレス	: sales@asada.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	: 推奨用途はドレンクリーナ本体・ワイヤ・ヘッドの錆防止の塗布である その他の用途には使用しないこと。

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 区分に該当しない、分類できないは省略

## &lt;物理化学的危険性&gt;

可燃性ガス : 区分1

エアゾール : 区分1

高压ガス : 液化

## &lt;健康に対する有害性&gt;

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B

生殖細胞変異原性 : 区分1B, 区分2

発がん性 : 区分1A

生殖毒性 : 区分1B

特定標的臓器毒性、単回暴露 : 区分1, 区分2, 区分3

特定標的臓器毒性、反復暴露 : 区分1

誤えん有害性 : 区分1

## &lt;環境に対する有害性&gt;

-

## GHSラベル表示

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 極めて可燃性の強いエアゾールである。  
加圧容器であり加熱すると爆発の危険がある。  
飲み込んで呼吸器に侵入すると、呼吸器障害・致死の恐れがある。  
眠気またはめまいを起こす恐れがある。

注意書き : ●医師の診断が必要な際は、本品の容器や貼り紙を見せること。  
●子供の手の届かない所に保存すること。  
●使用前に本製品の貼り紙をよく読むこと。  
●熱・火花・炎・高温の場所に近づけないこと。  
●本製品の近くで喫煙をしてはならない。  
●本製品は高圧であるため、容器に穴を開けたり加熱してはならない。  
●炎や他の発火源の近くで本製品を使用してはならない。  
●太陽光の届かない場所で保管・使用すること。  
●温度が50℃を超える場所に本製品を置かない事。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物（潤滑油基油・液化ガスの混合物）

成分名	CAS No.	化学式	官報公示整理番号	成分及び含有量%（質量比）
白色鉱油	8042-47-5	-	-	25-50
炭化水素	-	-	-	10-25
イソブタン	75-28-5	C4H10	(2)-4	10-25
プロパン	74-98-6	C3H8	(2)-3	10-25
ブタン	106-97-8	C4H10	(2)-4	10-25

### 4. 応急処置

状態に応じた応急処置の方法

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移して休ませる。不調がある場合は、医師の診断を受けること。  
皮膚に付着した場合 : 霜で体を痛める危険があるので、接触箇所を大量の水ですすぐ。  
着ている衣類等は脱いだり剥がしたりしないこと。  
目に入った場合 : 目をあけ、目を数分～十数分流水ですすぐ。その後医師の診断を受ける  
飲み込んだ場合 : すぐに医師の診断を受ける。

医師に提供できる情報

急性・慢性症状の兆候など : データなし  
緊急性を要する医療処置や  
特別な治療に関する指示 : データなし

### 5. 火災時の措置

消火用の媒体

消化剤 : 二酸化炭素、砂、粉末消化剤  
使ってはならない消化剤 : 水（特にジェット噴水）  
特有の危険有害性 : データなし

消化時の注意事項

- 消火を行う者の保護 : 爆発・燃焼で生じたガスを吸わないようにすること。  
消化を行う際は、保護メガネ、保護衣、防煙マスクを着用し、  
ガスの吸い込みを防止する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 必ず十分な換気をする。発火源は決して近づけないこと。  
漏出対応時は必ず保護具を着用すること。  
保護具を着用していない者を近づけないこと。
- 環境に対する注意事項 : 下水やその他の水源・水路に本製品を流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法  
及び機材 : 必ず十分な換気をして作業すること。
- その他の参考情報 : ※7. 8. 13. のセクションも参考のために読んでおくこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 風通しのよい場所でのみ取り扱うこと。煙は空気より重いため、特に床  
付近で風通しがよい場所を選ぶこと。容器を開ける際は特に注意する
- 火災・爆発からの保護 : 裸火や白熱灯に向かって本製品をスプレーしてはならない。  
直射日光を避け、温度が40度以上になる所で本製品を保管しないこと。  
使用後の容器であっても、燃やしたり穴をあけてはならない。  
本製品の処理は室外で行うか、爆発から保護された部屋で行うこと。  
発火源を避け、本製品の近くでタバコを吸わないこと。  
静電気や帯電への対策を行うこと。

保管

- 安全な保管条件、同時に  
保管してはならないもの、  
貯蔵室や容器の使用条件 : 倉庫で保管する場合、専用の置き場を設けること。また、倉庫内は  
低温に保つこと。
- 一般的な倉庫の立地条件 : 倉庫の設置場所は、可燃性の物質から遠ざけること。
- 保つべき倉庫の状態 : 倉庫は風通しのよい所に設置すること。容器はしっかり封をすること。  
ただし容器内のガスは密閉しないこと。倉庫内は低温・乾燥した環境を  
保つのが望ましい。熱や直射日光は避けること。
- 使用後の最終処理について : データなし

8. 曝露防止および保護措置

- 技術的な設備の設計に関する : データなし

追加情報

- 職場で監視が必要な成分 : CAS No. 106-97-8 ブタン
- 短時間(15分)での曝露限界 : 1810mg/m<sup>3</sup>, 750ppm
- 長時間(8時間)での曝露限界 : 1450mg/m<sup>3</sup>, 600ppm
- 注意事項 : ※1, 3-ブタジエンを0.1%以上含んでいる可能性がある。

- その他追加情報 : 上記情報は、基礎データを基に作成した確かなものである。
- 曝露防止のための人的保護  
 装備、全体的な保護、衛生的な処置など : 業務中に飲食・喫煙をしないこと。本製品に直接鼻を近づけないこと。
- 呼吸用保護具 : 呼吸器不全が起きないように、適切な呼吸器保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用すること。保護手袋は素材だけでなく、製品の質や製造メーカーにも注意すること。不測の事態に備えて保護手袋は数点用意しておくこと。また、着用前に破損がないか確認すること。保護手袋が着用中に破れた際は、手袋をはずして手などに液体が付着していないか確認し、不調がある際は医師の診察を受けること。
- 眼の保護具 : しっかり密着する保護眼鏡を着用する。

## 9. 物理的および化学的性質

- 外観（物理的状态、形状、色） : 加圧液化ガス、無色透明
- 臭い : あり 臭いを感じる濃度範囲についてデータなし
- pH値 : データなし
- 融点・凝固点 : データなし
- 沸点 : -44℃
- 引火点 : -97℃
- 可燃性（液及びガス） : データなし
- 自然発火温度 : 365℃
- 分解温度 : データなし
- 製品の自然発火 : データなし
- 製品の爆発危険性 : 空気や蒸気との混合により爆発が生じる恐れがある。
- 爆発限界 : 1.5～10.9Vol %
- 蒸気圧 : 4200hPa (20℃)
- 密度 : データなし
- 相対密度 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 蒸発率 : データなし
- 溶解度・混和性 : 水には溶解・混和しない。
- n-オクタノール／水分配係数 : データなし
- 絶対粘度 : データなし
- 動粘度 : データなし
- その他のデータ : データなし

## 10. 安定性および反応性

- 化学的安定性 : 仕様書の通りに扱った際は、製品の分解は起こらない。
- 危険有害反応可能性 : 本製品を目的に従って使用する場合、危険な反応は想定されない。
- 避けるべき条件 : データなし
- 混合接触危険物質 : データなし

危険有害な分解生成物 : データなし

#### 1.1. 有害性情報

急性毒性(経口) : 分類できない  
 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:ガス) : 区分に該当しない  
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:粉塵・ミスト) : 分類できない  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分3  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B  
 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類できない  
 生殖細胞変異原性 : 区分1B, 区分2  
 発がん性 : 区分1A  
 生殖毒性 : 区分1B  
 特定標的臓器毒性、単回暴露 : 区分1, 区分2, 区分3  
 特定標的臓器毒性、反復暴露 : 区分1  
 誤えん有害性 : 区分1

#### 1.2. 環境影響情報

生態毒性 : データなし  
 残留性・分解性 : データなし  
 生態蓄積性 : データなし  
 土壤中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : データなし  
 水生環境有害性 短期(急性) : データなし  
 水生環境有害性 長期(慢性) : データなし

#### 1.3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 : 家庭ごみと一緒に処分してはならない。製品を下水その他に流してはならない。  
 汚れた容器の処理方法 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

#### 1.4. 輸送上の注意

国連番号  
 ADR, IMDG, IATA : UN1950  
 国連正式輸送品目名  
 ADR : 1950 AEROSOLS  
 IMDG : AEROSOLS  
 IATA : AEROSOLS, flammable  
 国連分類による輸送危険物クラス  
 ADR : 



- 船舶安全法 : 危規則 第2、3条危険物告示別表第1  
(高圧ガス、引火性液体類、可燃性物質類)
- 航空法 : 航空法第86条および施行規則第194条危険物告示別表第1  
(高圧ガス、引火性液体類、可燃性物質類)
- 港則法 : 危険物 高圧ガス、引火性液体類、可燃性物質類  
(法第21条、則第12条、昭和54告示548別表二イ)

#### 16. その他の情報

- 本製品に関連する語句 : H220 極めて可燃性の高いガス  
H280 圧のかかったガスを含み、熱を加えることで爆発の恐れがある  
R12 極めて可燃性が高い

#### ※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。